

愛媛県立三崎高等学校 創立70周年記念演奏会

第10回

三崎高校フェスティバル

MISAKI
HIGH SCHOOL
WIND
ORCHESTRA



みさこうヒットメドレー
みさこうダンスヒットメドレー
マカームダンス 他
伊方中学校ブラスバンド部も
出演します!

7月24日(金)

三崎小中学校体育館

開場 16:30
開演 17:00 (18:30終演予定)

※駐車場は三崎小学校運動場をご利用ください。
※新型コロナウイルス感染症予防のため
マスクの着用と検温にご協力ください。

MAP



(みさきアートプロジェクト)

現在、三崎高校では授業の時間で地域を活性化させる活動を行っています。

私たちはアートの観点から地域おこしをしようと考え、防潮堤に着目しました。三崎港の防潮堤が無機質で殺風景だという地域の方の声を聞き、今回、防潮堤の壁に絵を描くことにしました。その名も MAP(みさきアートプロジェクト)！このプロジェクトで地域の方々と防潮堤をアートで盛り上げ、たくさんの方が集まる新しいスポットに変えていきたいです。

日 時	12月5日(土曜日) (雨天時12月6日(日)に延期)
日 程	11:00~12:00 (三崎小学校) 12:00~13:00 (三崎保育所) 13:00~14:00 (三崎中学校)
場 所	三崎の防潮堤
服 装	汚れてもいい服装
参加費	無料
申 込	取りまとめ代表者に御連絡の上、当日は『連絡先および健康状態申告のお願い』を記入してご参加ください。

※今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、事前に参加申し込みされた方のみでの実施となります。ご了承ください。なお、観覧は自由となっています。活動の様子をぜひご覧ください。



■2020年(令和2年)11月17日 内外教育 第6871号掲載記事

西端から先端へ地域を活性化

県立回書通商社教育活動賞、県立校の活躍④

●愛媛県立三崎高等学校

愛媛県の西端、日本一長い半島として知られる佐田半島。人口減少の波にもまれる半島で唯一の高校が、愛媛県立三崎高校(山本昌宏校長、生徒数198人)だ。同校は、生徒数が最盛期の500人から100人程度に減少し、分岐化の危機にさらされていた。入学数が半分の分岐化の基盤となる生徒数100人未満となったが、地域活性化の取り組みが評価され、文部科学省の指定事業に認定。地域活性化の取り組みが注目され、再び生徒が集まり始めた。2019年度からは合同昇学を開始し、20年度は県外から17人が入学、入学者は1.5倍に上り、分岐化の基盤を上回った。

同校が取り組む伊方町唯一の高校として、広い開拓地を高い専門性を生かして、将来地元に戻って地域の発展に貢献する「アメリカン人材」の育成に力を入れる。「アメリカン人材」に求められる課題解決力、ネットワーキング能力、コミュニケーション力、地域活性化への使命感などを育成するため、生徒が主体的に地域を活性化できるような課題を提示している。(副校長 坂井 忠)

課題解決力を養成

特報



地元の農産物の販売にアイデアのアイデアを生かすツアープログラムの生徒

アート専攻、歴史そのアイを使ったアートの作成、曲調制作は、15年生に地元特産のミカンを使った大瓶「みかん大瓶」をOBが経営する地元産物と共同開発。この商品は、地元新聞社が選ぶお取り寄せサイト「47じぶん」の「こんなのあるが土産」コーナーに選ばれた。情報商材は、地域の個別機関を集め、フェイスブックなどを活用、子ども向けの別冊があるや終活居なども作っている。今後は、地域の人々を集めて歴史講座を行うことを計画している。ツアープログラムは、伊方町の町屋集落の学生宿と共に、町のツアープログラムを作る計画している。カフェでは、リヤカーを使った移動式のカフェを作り、メニューの開発を行った。いずれの活動にも共通しているのは、生徒と教員のみでは進捗しない点である。例えば「みかん大瓶」の商品化では、地元卸菓子屋との連携はもとろん、デザインと連携して、パッケージのデザイン。県内外の物産展などで、生徒が販売促進を始めることもある。ツアープログラムは、ガイドブックの内容について生徒から地域に提案し、取材、地域の人からアイデアを聞きながら作成している。各課で取り組む内容は、生徒自身が決めたり、期限までに何かしらの成果を挙げることを教員は指導を立てている。

生徒の活動は、歴史科のみにとどまらない。新卒の生徒を育成する「みかん大瓶」は、県内外の地産品を取り組むと学校が集まり、事例発表やフェイスブックキャンペーンを行う「せんだんミーティング」が、歴史ワークショップなどを行う「みかん大瓶」の運営などを行っている。

生徒の自主性向上

これらの取り組みは、地域社会と密接に関わり合いながら行われ、地元産物客の向上につながっている。卒業生も活躍する生徒のうち、6割が伊方町を含む愛媛県内市街での就職を選んだ。同校が目指すアメリカン人材は、5年後、10年後に町内に留まる人材を目指しており、大学進学者の中にも、地域活性化などを学べる学部に進学したり、町内に戻るために教員を目指したりする生徒がいるという。

自らがやりたいことを形定めてくれる学校の環境は、生徒の自主性も養っている。17、19の両年度には、文芸者が顧問する若者の海外留学への機会を促進するキャンペーン「とびタチ！ 留学JAPAN」にそれぞれ1人ずつ、16、18、19年度には日本各地の産物産地を合同で行う合同の「日本の次世代リトルワールド」18、19年度にオランダとオランダ入って運営された若手リーダーの国際プロジェクト「One Young World」に高校生で唯一(参加)顧問が若者の活動に参加したいという生徒が参加したという。田舎の子ともなるので、以前は内向的な生徒が多かった。まをまを活動を行うことで自信がなくなった。(担任 桑本 誠)

同校は、合同で行った生徒数進軍をしており、これまで県外からの入学生が、中学生時代は人と関わることを苦手にして、生徒も教員だが、取材

調査は、今年度から新たに設定した教科「実践報告」と「総合的な学習の時間」の両方を活用して、地域課題の解決に取り組んでいる。

「実践報告」は、学年ごとに異なるテーマを行う。1年生は、身近なSDGs(持続可能な開発目標)の課題を採って調査報告をさせる。2年生はビジュアルを使った課題解決。3年生は授業後者を目指す。必要な知識を身に付ける。ビジュアルの総称は「REELS(リールズ)」という地域経済分析システムを使い、人口動態や物の流れなどを追う。解析したデータから課題解決の糸口を見つけ、「地方創生実践者」への育成を目指す。への提出を目指している。3年生の授業後者では、起業家を呼んで授業を行った。インターネット販売の手法を学んだりする。町内には企業が少ない。卒業生が町内で就職しなくても仕事がないことも多い。単に地域に家を誘引するだけでなく、持続可能な生活を目指す。地域を活性化させる人材に育つことを目指す。授業を通じて、将来起業を考える生徒もいる。普通科高校ながら専攻的な学びがある。

「総合的な学習の時間」は、1年生の前半は地域についての知識を深める学習をし、伊方町の歴史や地理について学ぶ。1年生の後半から3、4年生にかけては、イベント、アート、商品開発、情報発信、ツアー、カフェのりばに分かれ、学年合同プロジェクトを進める。イベント組は、これまで県外発表を導くために1年度に作った「みかん大瓶」の普及活動を行っている。

■2020年(令和2年)11月17日 内外教育 第6871号掲載記事

5 令和3年度教育課程表

令和3年度入学（普通科）		令和3年度教育課程表										愛媛県立三崎高等学校（全日制・本校）				
区 分			I 型				II 型									
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計	1年	2年		3年		計				
								文	理	文	理	文	理			
国 語	国語総合	4	4			4	4					4				
	国語表現	3		○2	□2	0・4										
	現代文B	4		2	3	5		2		3		5				
	古典B	4						2		3		5				
地 理	世界史A	2	2			2	2					2				
	日本史A	2														
	日本史B	4		3		3						0・8	0・5			
	地理B	4]3]5]2				
公 民	現代社会	2								2		2				
	倫理	2		2		2				2		2				
	政治・経済	2			3	3		3				3				
数 学	数学Ⅰ	3	3			3	3					3				
	数学Ⅱ	4		2	2	4		4				4				
	数学Ⅲ	5									6		6			
	数学A	2	2			2	2					2				
	数学B	2						2				2				
	数学研究	4								4	4	4	4			
理 科	物理基礎	2											0・2			
	物理	4											0・5			
	化学基礎	2	2			2	2					3	2			
	化学	4						2	2		3		5			
	生物基礎	2		2		2						2	0・2			
	生物	4											0・5			
	地学基礎	2	2			2	2						2			
保 健 体 育	体育	7~8	3	3	3	9	3	2		2		7				
	保健	2	1	1		2	1	1				2				
芸 術	音楽Ⅰ	2				0・2						0・2				
	音楽Ⅱ	2		△2		0・2		▲1				0・1				
	音楽Ⅲ	2			※3	0・3				◎3		0・3				
	美術Ⅰ	2				0・2						0・2				
	美術Ⅱ	2		△2		0・2						0・1				
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3			3	3					3				
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		3	2	5		4				4				
	コミュニケーション英語Ⅲ	4								4		4				
	英語表現Ⅰ	2	2			2	2			2		2				
	英語表現Ⅱ	4						2		2		4				
	英語会話	2			▼2	0・2										
家 庭	家庭総合	4	2	2		4	2	2				4				
情 報	社会と情報	2	2			2	2					2				
共通教科・科目計			30	20・22・24	15・17 18・19 20・22	65・67 69・70 71・72 74・76	65・67 69・70 71・72 74・76	30	29・30	30	28	28・30	87・88	88・90	87・88 90	
商 業	ビジネス基礎	2~4		3		3										
	マーケティング	2~4			●2	0・2										
	簿記	2~6			4	4										
	情報処理	2~6		3		3										
家 庭	電子商取引	2~4			※3	0・3										
	子どもの発達と保育	2~6			▼2	0・2										
	ファッション造形基礎	2~6		○2		0・2										
	フード・テ・キ・イン	2~6			●2	0・2										
総 合	服飾手芸	1~2			□2	0・2		▲1				0・1				
	総合基礎	2		2		2										
	総合コミュニケーション	2		△2		0・2				2	2	2	0・2	0・2		
専 門 教 科 ・ 科 目 計	未咲輝学	3	1	1	1	3	3	1	1	1	3	1・3	5・6	3・5	3・5・6	
	小計		31	31	31	93	93	31	31	31	31	93	93	93		
	総合的な探究の時間	3~6	1	1	1	3	3	1	1	1	1	3	3	3		
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	3	3	1	1	1	1	3	3	3			
合 計		33	33	33	99	99	33	33	33	33	99	99	99			
備 考		就職・専門学校等希望者向き ○印の中から1科目選択。 ※印の中から1科目選択。 ●印の中から1科目選択。 △印の中から1科目選択。 ▼印の中から1科目選択。 □印の中から1科目選択。（2年次「国語表現」選択者は「国語表現」、2年次「ファッション造形基礎」選択者は「服飾手芸」を選択）					大学等進学希望者向き ◎印の中から1科目選択。 ▲印の中から1科目選択。 ■印は物理基礎を4月～9月までまとめて履修し、10月～3月まで物理を履修する。 ▽印は生物基礎を4月～9月までまとめて履修し、10月～3月まで生物を履修する。									

令和3年度教育課程表

令和2年度入学（普通科）

愛媛県立三崎高等学校（全日制・本校）

区分	科目	標準単位数	I 型				II 型								
			1年	2年	3年	計	1年	2年		3年		計			
教科	科目	標準単位数	1年	2年	3年	計	1年	文	理	文	理	文	理	計	
国語	国語総合	4	4			4	9・13	4				4		14	
	国語表現	3		○2	□2	0・4							5		
	現代文B	4		2	3	5			2		3		5		
	古典B	4							2		3		5		
地理歴史	世界史A	2	2			2	5	2				2		7・10	
	日本史A	2													
	日本史B	4		3		3						0・8	0・5		
	地理B	4							3		5		0・8		0・5
公民	現代社会	2					5				2		2	2・5	
	倫理	2		2		2				2		2			
	政治・経済	2			3	3			3			3			
数学	数学Ⅰ	3	3			3	9	3				3		15・17	
	数学Ⅱ	4		2	2	4			4			4			
	数学Ⅲ	5									6		6		
	数学A	2	2			2		2				2			
	数学B	2								2		2			
	数学研究	4								2		4	4		4
理科	物理基礎	2					8						0・2	6・9・16	
	物理	4											0・5		
	化学基礎	2	2			2		2		2		3	2		
	化学	4							2	2		3	5		
	生物基礎	2		2		2			2				2		0・2
	生物	4											0・5		
	地学基礎	2	2			2		2					2		
	生物探究	2				2		2			◎3		0・3		
保健体育	体育	7~8	3	3	3	9	11	3	2		2		7	9	
	保健	2	1	1		2		1	1				2		
芸術	音楽Ⅰ	2				0・2	2・4・7					0・2		2・3・6	
	音楽Ⅱ	2		△2		0・2		2	▲1			0・1			
	音楽Ⅲ	2			※3	0・3					◎3		0・3		
	美術Ⅰ	2				0・2						0・2			
	美術Ⅱ	2		△2		0・2			▲1			0・1			
	美術Ⅲ	2			※3	0・3					◎3		0・3		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3			3	10・12	3				3		17	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		3	2	5			4			4			
	コミュニケーション英語Ⅲ	4									4		4		
	英語表現Ⅰ	2	2			2		2				2			
	英語表現Ⅱ	4							2		2	4			
	英語会話	2			▼2	0・2									
家庭	家庭総合	4	2	2		4	4	2	2			4		4	
情報	社会と情報	2	2			2	2	2				2		2	
共通教科・科目計			30	20・22・24	15・17 18・19 20・22	65・67 69・70 71・72 74・76	65・67 69・70 71・72 74・76	30	29・30	30	28	28・30	87・88	88・90	87・88 90
商業	ビジネス基礎	2~4		3		3	10・12 13・15							0・1	
	マーケティング	2~4			●2	0・2									
	簿記	2~6			4	4									
	情報処理	2~6		3		3									
家庭	電子商取引	2~4			※3	0・3							0・2・8 4・6・8		
	子どもの発達と保育	2~6			▼2	0・2									
	ファッション造形基礎	2~6		○2		0・2									
	フード・テ・サ・イン	2~6			●2	0・2									
総合	服飾手芸	1~2			□2	0・2		▲1				0・1			
	総合基礎	2			2	2	2								
	総合コミュニケーション	2		△2		0・2	0・2			2	2	2	0・2	0・2	
未咲輝学	3	1	1	1	3	3	1	1		1	3		3		
専門教科・科目計			1	7・9・11	9・11 12・13 14・16	17・19 21・22 23・24 26・28	17・19 21・22 23・24 26・28	1	1・2	1	3	1・3	5・6	3・5	3・5・6
小計			31	31	31	93	93	31	31	31	31	93		93	
総合的な探究の時間			3~6	1	1	1	3	3	1	1	1	1	3	3	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	3	1	1	1	1	3		3	
合計			33	33	33	99	99	33	33	33	33	99		99	
備考			就職・専門学校等希望者向き				大学等進学者希望者向き								
			○印の中から1科目選択。 ※印の中から1科目選択。 ●印の中から1科目選択。 △印の中から1科目選択。 ▼印の中から1科目選択。 □印の中から1科目選択。 （2年次「国語表現」選択者は「国語表現」、2年次「ファッション造形基礎」選択者は「服飾手芸」を選択）				◎印の内から1科目選択。 ▲印の内から1科目選択。 ■印は物理基礎を4月～9月までまとめて履修し、10月～3月まで物理を履修する。 ▽印は生物基礎を4月～9月までまとめて履修し、10月～3月まで生物を履修する。								

令和3年度教育課程表

令和元年度入学（普通科）

愛媛県立三崎高等学校（全日制・本校）

区分	類型		I 型				II 型								
	教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計	1年	2年		3年		計		
									文	理	文	理		文	理
国語	国語総合	4	4			4	9・13	4				4	14		
	国語表現	3		○2	□2	0・4									
	現代文B	4		2	3	5			2		3	5			
	古典B	4							2		3	5			
地理 歴史	世界史A	2	2			2	5	2				2	7・10		
	日本史A	2													
	日本史B	4		3		3									
	地理B	4							3	5	2	0・8		0・5	
公民	現代社会	2					5				2	2	2・5		
	倫理	2		2		2				2					
	政治・経済	2			3	3			3			3			
数学	数学Ⅰ	3	3			3	9	3				3	15・17		
	数学Ⅱ	4		2	2	4			4	2	2	6		6	4
	数学Ⅲ	5										6			6
	数学A	2	2			2			2					2	
	数学B	2								2				2	
	数学研究	2									2	2			2
理科	物理基礎	2					8						0・2	6・9・16	
	物理	4													0・5
	化学基礎	2	2			2			2	2	2		2		
	化学	4							2	2	2	3			5
	生物基礎	2		2		2			2				2		0・2
	生物	4													0・5
	地学基礎	2	2			2			2						2
	生物探究	2			2	2					◎3		0・3		
保健 体育	体育	7~8	3	3	3	9	11	3	2		2		7	9	
	保健	2	1	1		2			1				2		
芸術	音楽Ⅰ	2				0・2	2・4・7						0・2	2・3・6	
	音楽Ⅱ	2		△2		0・2			▲1				0・1		
	音楽Ⅲ	2				※3		0・3			◎3		0・3		
	美術Ⅰ	2				0・2									0・2
	美術Ⅱ	2		△2		0・2				▲1			0・1		
	美術Ⅲ	2				※3		0・3			◎3		0・3		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3			3	10・12	3				3	17		
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		3	2	5			4			4			
	コミュニケーション英語Ⅲ	4									4			4	
	英語表現Ⅰ	2	2			2			2					2	
	英語表現Ⅱ	4							2		2			4	
	英語会話	2			▼2	0・2									
	英語総合	2													
家庭 情報	家庭総合	4	2	2		4	4	2	2			4	4		
社会と情報	2	2				2	2				2	2			
共通教科・科目計			30	20・22・24	15・17 18・19 20・22	65・67 69・70 71・72 74・76	65・67 69・70 71・72 74・76	30	29・30	30	28	28・30	87・88	88・90	87・88 90
商業	ビジネス基礎	2~4		3		3	10・12 13・15								
	マーケティング	2~4			●2	0・2									
	簿記	2~6			4	4									
	情報処理	2~6		3		3									
家庭	電子商取引	2~4			※3	0・3									
	子どもの発達と保育	2~6			▼2	0・2	0・2・4 6・8								
	ファッション造形基礎	2~6		○2		0・2									
	フード・テクニク	2~6			●2	0・2									
服飾手芸	1~2			□2	0・2			▲1				0・1			
総合	総合基礎	2			2	2									
	総合コミュニケーション	2		△2		0・2	0・2			2	2	2	0・2	0・2	
	未咲輝学	3		1	1	2	2		1		1		2	2	
専門教科・科目計				7・9・11	9・11 12・13 14・16	16・18 20・21 22・23 25・27	16・18 20・21 22・23 25・27	1・2	1	3	1・3	4・5	2・4	2・4・5	
小計			30	31	31	92	92	30	31	31	31		92	92	
総合的な探究の時間			3~6	1	1	1	3	3	1	1	1	1	3	3	
特別活動			ホームルーム活動				1	1	1	1	1	1	3	3	
合計			32	33	33	98	98	32	33	33	33		98	98	
備考			就職・専門学校等希望者向き ○印の中から1科目選択。 ※印の中から1科目選択。 ●印の中から1科目選択。 △印の中から1科目選択。 ▼印の中から1科目選択。 □印の中から1科目選択。 （2年次「国語表現」 選択者は「国語表現」、2年次「ファッション造 形基礎」選択者は「服飾手芸」を選択）				大学等進学希望者向き ◎印の中から1科目選択。 ▲印の中から1科目選択。 ■印は物理基礎を4月~9月までまとめて履修し、10月~3月まで物理を履修する。 ▼印は生物基礎を4月~9月までまとめて履修し、10月~3月まで生物を履修する。								

6 令和3年度「総合的な探究の時間」年間指導計画

学年	第1学年	名称	三崎おこし	単位数	1
目標	郷土の産業、社会、自然、文化、歴史等への理解を深めることにより、地域に対する愛着や誇り、地域社会への帰属感を養うとともに、よりよい郷土を作っていこうとする意欲や態度を身に付けさせる。				
評価方法	活動状況の観察、研究発表の内容及び発表・視聴態度、自己評価、相互評価、成果物	担当 教員	学年団教員、関連教科教員		
授業の方法・形態	学年全体での一斉学習、個別・グループ学習、実習体験				
月	単元	学習活動	評価規準	時数	
4	○オリエンテーション	・ガイダンス ・自己理解活動	・意欲的に聞くことができている。 ・自己の適性を的確に把握している。	2	
5	○スタートアッププログラム	・三崎高校の活動について ・伊方町について ・調査・研究の手法を学ぶ	・主体的に活動している。 ・学習した内容を適切にまとめられている。	3	
6	○地域資源活用プログラム ○地域おこし講演会	・伊方町を知る (自然・歴史・文化等) ・地域おこし講演会	・地域社会への愛着・帰属感の形成につながる活動となっている。 ・意欲的に聞くことができている。	4	
7	○地域資源活用プログラム	・ブイアートプロジェクト	・主体的に活動している。 ・適切な作品が制作できている。	3	
8	○先進事例研究	・県内先進事例調査	・主体的に活動している。 ・調べたことを適切にまとめられている。	1	
9	○先進事例研究 ○地域おこし講演会	・県内先進事例調査 ・県外先進事例調査 ・地域おこし講演会	・主体的に活動している。 ・調べたことを適切にまとめられている。 ・意欲的に聞くことができている。	4	
10	○探究活動	・特産品の開発、情報発信・防災、イベント研究等 ・集落等コミュニティ課題解決・実践プログラム	・主体的に活動している。 ・適切な手段・方法によって研究している。 ・郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる活動を行うことができている。	4	
11				4	
12				4	
1	○研究成果発表会	・発表の準備 ・研究成果の発表	・適切な手段・方法で、発表準備をしている。 ・適切な手段・方法によって、効果的で伝わりやすい発表ができている。 ・他者の発表を真剣な態度で聞くことができている。	2	
2				2	
3	○学習のまとめ	・研究の反省と自己評価	・他者の評価を参考にした反省・評価を行っている。	2	

学年	第2学年	名称	三崎おこし	単位数	1
目標	1年次に研究した内容を基に、地域の魅力や課題について考察し、地域おこし活動を計画・実施することで、郷土愛や地域活性化への使命感を育成するとともに、問題解決能力やコミュニケーション能力などの生きる力を身に付けさせる。				
評価方法	活動状況の観察、研究発表の内容及び発表・視聴態度、自己評価、相互評価、成果物	担当 教員	学年団教員、関連教科教員		
授業の方法・形態	一斉学習、個別・グループ学習				
月	単元	学習活動	評価規準	時数	
4	○オリエンテーション	・ガイダンス ・活動計画の立案	・意欲的に聞くことができている。 ・主体的に活動している。	2	
5	○探究活動	・特産品の開発、情報発信・防災、イベント研究等	・主体的に活動している。 ・適切な手段・方法によって調査している。 ・郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる活動を行うことができている。	3	
6	○地域おこし講演会	・地域おこし講演会	・意欲的に聞くことができている。	4	
7	○探究活動	・特産品の開発、情報発信・防災、イベント研究等	・主体的に活動している。 ・適切な手段・方法によって調査している。 ・郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる活動を行うことができている。	3	
8				1	
9	○地域おこし講演会	・地域おこし講演会	・意欲的に聞くことができている。	4	
10	○探究活動	・特産品の開発、情報発信・防災、イベント研究等	・主体的に活動している。 ・適切な手段・方法によって調査している。 ・郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる活動を行うことができている。 ・適切な成果物等が制作できている。	4	
11	○探究活動	・集落等コミュニティ課題解決・実践プログラム	・他者と協働して活動することができる。 ・地域社会への愛着・帰属感、地域活性化への使命感の形成につながる研究となっている。	4	
12				4	
1	○研究成果発表会	・発表の準備	・適切な手段・方法で、発表準備をしている。	2	
2		・研究成果の発表	・適切な手段・方法によって、効果的でわかりやすい発表ができている。 ・他者の発表を真剣な態度で聞くことができている。	2	
3	○学習のまとめ	・研究の反省と自己評価	・他者の評価を参考にした反省・評価を行っている。	2	

学年	第3学年	名称	三崎おこし	単位数	1
目標	1、2年次に研究した内容を基に、地域の魅力や課題について考察し、地域おこし活動を計画・実施することで、郷土愛や地域活性化への使命感を育成するとともに、問題解決能力やコミュニケーション能力などの生きる力を身に付けさせる。				
評価方法	活動状況の観察、研究発表の内容及び発表・視聴態度、自己評価、相互評価、成果物	担当 教員	学年団教員、関連教科教員		
授業の方法・形態	一斉学習、個別・グループ学習				
月	単元	学習活動	評価規準	時数	
4	○オリエンテーション	・ガイダンス ・活動計画の立案	・意欲的に聞くことができている。 ・主体的に活動している。	3	
5	○探究活動	・特産品の開発、情報発信・防災、イベント研究等	・主体的に活動している。 ・適切な手段・方法によって調査している。 ・郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる活動を行うことができている。	3	
6	○地域おこし講演会 ○探究活動	・地域おこし講演会 ・特産品の開発、情報発信・防災、イベント研究等	・意欲的に聞くことができている。 ・主体的に活動している。 ・適切な手段・方法によって調査している。 ・郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる活動を行うことができている。	4	
7				4	
8				1	
9	○地域おこし講演会 ○探究活動	・地域おこし講演会 ・特産品の開発、情報発信・防災、イベント研究等	・意欲的に聞くことができている。 ・主体的に活動している。 ・適切な手段・方法によって調査している。 ・郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる活動を行うことができている。	4	
10				4	
11	○探究活動	・集落等コミュニティ課題解決・実践プログラム	・他者と協働して活動することができる。 ・地域社会への愛着・帰属感、地域活性化への使命感の形成につながる研究となっている。	4	
12				4	
1	○学習のまとめ ○研究成果発表会	・研究の反省と自己評価 ・発表の準備 ・研究成果の発表	・活動を総括した反省・評価を行っている。 ・適切な手段・方法で、発表準備をしている。 ・適切な手段・方法によって、効果的で伝わりやすい発表ができている。	3	
2			・他者の発表を真剣な態度で聞くことができている。	1	

7 令和3年度学校設定科目「未咲輝学」年間指導計画

学年	第1学年	名称	未咲輝学 I	単位数	1
目標	<p>地域課題を発見し解決するという活動を通して、判断力やコミュニケーション力などの力を身に付けさせるとともに、地域への愛着を高めさせる。</p> <p>将来地元に戻り、暮らしていくことを考えさせる活動に取り組むことで、持続可能なまちづくりを行うことのできる、地域リーダーとなる生徒を育てる。</p>				
評価方法	活動状況の観察、職場体験における活動、自己評価、相互評価、活動報告書	担当 教員	学年団教員、関連教科教員		
授業の方法・形態	学年全体での一斉学習、個別・グループ学習、実習体験				
月	単元	学習活動	評価規準	時数	
4	○地域おこし とは	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の確認 学習計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に聞くことができています。 主体的に活動している。 	2	
5	○地域見学	<ul style="list-style-type: none"> SDG s と地方創生 町内巡り 観光拠点施設「はなはな」見学 地域産業学習 	<ul style="list-style-type: none"> 自分事として話を聞くことができています。 地域の特徴について理解を深めることができています。 地域の人と積極的に交流することができています。 適切な手段・方法によって調査している。 	3	
6				4	
7				2	
8	○職場体験 (インターシップ)	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習 職場体験 事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> マナーや礼儀を習得することができています。 職場体験を通して、様々な年齢や立場の人と適切に交流する力を身に付けることができています。 職場体験を通して、地域の産業について理解を深めることができています。 	1	
9				4	
10	○地域の人との 交流	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー 交流授業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に活動している。 地域の人と積極的に交流している。 	4	
11				4	
12	○地域課題の 理解	<ul style="list-style-type: none"> 伊方町の特徴調査 地域課題の発見 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な手段・方法によって、調査活動が実施できています。 自分事として、地域課題を設定することができています。 	3	
1				3	
2	○学習のま とめ	<ul style="list-style-type: none"> 到達度の確認 学習のまとめと反省 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な手段・方法によって、活動報告書を作成できています。 他者の評価を参考にした反省・評価を行っている。 	3	
3				2	

学年	第2学年	名称	未咲輝学Ⅱ	単位数	1
目標	<p>地域課題を発見し解決するという活動を通して、判断力やコミュニケーション力などの力を身に付けさせるとともに、地域への愛着を高めさせる。</p> <p>将来地元に戻り、暮らしていくことを考えさせる活動に取り組むことで、持続可能なまちづくりを行うことのできる、地域リーダーとなる生徒を育てる。</p>				
評価方法	活動状況の観察、成果物、自己評価、相互評価、活動報告書	担当 教員	学年団教員、関連教科教員		
授業の方法・形態	学年全体での一斉学習、個別・グループ学習				
月	単元	学習活動	評価規準	時数	
4	○地域づくりとは	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の確認 学習計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に聞くことができています。 主体的に活動している。 	2	
5	○地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 地域の生態系とは 地域コミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に活動している。 地域コミュニティの在り方について理解している。 	3	
6	○RESAS	<ul style="list-style-type: none"> RESASとは RESAS分析 	<ul style="list-style-type: none"> RESASの使い方を理解している。 RESASを使って適切な地域分析ができています。 	4	
7				3	
8	○RESAS	<ul style="list-style-type: none"> 「地方創生☆政策アイデアコンテスト」プラン作成 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土理解を深め、よりよい地域社会の形成につながる研究となる企画書を作成している。 	1	
9				4	
10	○未来ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンづくり 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を踏まえて、前向きなビジョンを作成できています。 	4	
11	○全国高校生マイプロジェクトアワード	<ul style="list-style-type: none"> 「全国高校生マイプロジェクトアワード」プラン作成 	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会への愛着・帰属感、地域活性化への使命感の形成につながる研究となっている。 	4	
12	○生きがいくくり	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジできる場づくり チャレンジできる内容づくり 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を踏まえて、主体的に活動できています。 	2	
1				3	
2	○学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 到達度の確認 学習のまとめと反省 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な手段・方法によって、活動報告書を作成できています。 他者の評価を参考にした反省・評価を行っている。 	3	
3				2	

学年	第3学年	名称	未咲輝学Ⅲ	単位数	1
目標	<p>地域課題を発見し解決するという活動を通して、判断力やコミュニケーション力などの力を身に付けさせるとともに、地域への愛着を高めさせる。</p> <p>将来地元に戻り、暮らしていくことを考えさせる活動に取り組むことで、持続可能なまちづくりを行うことのできる、地域リーダーとなる生徒を育てる。</p>				
評価方法	活動状況の観察、成果物、自己評価、相互評価、活動報告書		担当 教員	学年団教員、関連教科教員	
授業の方法・形態	学年全体での一斉学習、個別・グループ学習				
月	単元	学習活動	評価規準	時数	
4	○求められる地域人材とは	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の確認 ・学習計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に聞くことができています。 ・主体的に活動している。 	3	
5	○起業家育成	<ul style="list-style-type: none"> ・企業経営 ・電子商取引 ・起業家育成 ・販売実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に活動している。 ・企業経営や電子商取引などについて理解している。 ・場面や状況に応じた臨機応変な対応ができています。 	4	
6				4	
7				4	
8	○地域企業理解	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業や地域の産業について理解している。 	1	
9				4	
10	○地域 PR ポスター	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの制作 ・ポスターセッションの実施 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を生かして、地域の特性を踏まえたポスターが制作できている。 ・聞き手に伝わりやすい発表ができています。 	4	
11				4	
12	○SDGs と教育	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組んでいる。 	4	
1	○学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・到達度の確認 ・学習のまとめと反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な手段・方法によって、活動報告書を作成できている。 ・他者の評価を参考にした反省・評価を行っている。 	3	